

検証及び評価結果 サマリー

鉄道建設・運輸施設整備支援機構(“JR TT”)は JR TT サステナビリティファイナンス^{*1}に基づく資金調達を予定しており、外部レビュー機関である DNV GL に対し、検証及び評価を依頼しました。JR TT サステナビリティファイナンスは、以下、SDGs への貢献を含む適格プロジェクトポートフォリオで構成されています。概要は、下表を参照ください。

^{*1}：環境(グリーン)性と社会(ソーシャル)性の両方への貢献、債券発行(ボンド)や市中借入(ローン)などを内包した資金調達手段

適格プロジェクトポートフォリオ:


01 鉄道建設業務

02 船舶共有建造業務

DNV GL はサステナビリティファイナンスに基づく資金調達前検証及び評価を実施しました。我々 DNV GL は独立した機関として責任を持って、気候ボンド標準 2.1 版への適合について検証意見を述べると共に、関連する規準であるグリーンボンド原則(2018)、ソーシャルボンド原則(2018)、サステナビリティボンドガイドライン(2018)、グリーンローン原則(2018)、グリーンボンドガイドライン(環境省、2017)への適合について評価を行いました。

検証及び評価の結果、DNV GL は、JR TT サステナビリティファイナンスが上述の規準で要求される全ての重要事項への準拠について、懸念は認められず、適格であることを確認しました。

なおこの検証及び評価レポートは、JR TT が今後継続的に検証されたサステナビリティファイナンスに基づく資金調達を行うためのプロジェクトポートフォリオと関連規準及びそれらの共通事項への適合性(CBI プログラム認証)について要約したものです。検証レポートに記載される全てのプロジェクトが次回の資金調達に含まれるわけではありません。また、DNV GL は検証活動を通じて、将来的に含まれ得る各プロジェクトについて評価(例えば、鉄道距離、利用者数)を行い、適格性を確認しました。また今後実施されるファイナンスの対象となるプロジェクトは JR TT により、各サステナビリティファイナンスに基づく資金調達の都度、事前に必要な情報が公開される予定です。

プロジェクトポートフォリオ名	環境的便益	社会的便益	SDGs 目標への貢献
01 鉄道建設業務	適格カテゴリ：クリーンな輸送 ・環境負荷の低減(温室効果ガス等の排出削減)	適格カテゴリ： ・必要不可欠な交通インフラの整備 ・低コスト性及び多様な顧客層のアクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 目標 9：産業と技術革新の基盤をつくろう 目標 11：住み続けられるまちづくりを 目標 13：気候変動に具体的な対策を 
02 船舶共有建造業務	適格カテゴリ：クリーンな輸送、汚染防止および管理 ・環境負荷の低減(温室効果ガス等の排出削減) ・海洋汚染防止	適格カテゴリ： ・必要不可欠な交通インフラの整備及び多様な利用者の利便性 ・物流の効率化 ・離島航路の整備	<ul style="list-style-type: none"> 目標 8：働きがいも経済成長も 目標 9：産業と技術革新の基盤をつくろう 目標 11：住み続けられるまちづくりを 目標 13：気候変動に具体的な対策を 目標 14：海の豊かさを守ろう 